

令和4年度 自己評価書及び学校関係者評価書

令和5年3月20日
市立札幌旭丘高等学校

◇ 学校教育目標

～生徒の自主・自立を支援し、生涯にわたって学び続け、社会に貢献する人間の育成を目指す～

【育てたい生徒像】

- (1) 獲得した知識や技能を活用し、論理的・科学的考察によって真理を探究する生徒
- (2) 高い志を持ち、文化を創造し社会に貢献する意識を持つ生徒
- (3) 心身の健康を維持増進し、活力ある生活を送る生徒

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	評価のポイント・改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	生徒が充実した学校生活を送るよう支援する。	B	生徒の自己評価は高いが、教員からの関わり方にはまだ工夫の余地があるように見える。学習指導要領も新しくなり、指導方法にも工夫が求められる。	A	B
	自ら学び自ら考え、真理を探究する人間を育てる。	A	自分にあったゼミテーマを選んでいる生徒が多く、主体的に自分の学びに向き合っていると考えられる。	A	A
	広い視野に立って、生活や文化の発展に寄与する人間を育てる。	A	総合的な探究の時間などで教科を超えた学びに向き合った経験が自分に役立ったと感じている生徒が多く、広い視野の育成ができていていると思われる。	A	A
	他者への思いやりや正義感をもった社会に貢献する人間を育てる。	A	元々思いやりのある生徒が多いと考えられるが、良い事例については積極的に生徒に共有しており、社会貢献を意識するような取り組みが行われている。	A	A
学校関係者評価委員からの意見 ◎新たな学習指導要領にもとづきながら、教員からは、生徒の皆さんが思いやりあるコミュニケーション力と高い倫理観を得て社会貢献する人間へと成長できるような指導をと期待いたします。 ◎1番目の項目で「指導方法にも工夫が求められる」とあるが、どのような工夫なのか具体的に記してほしい。 ◎社会貢献を意識した人材の育成は、地域社会や国家にとっても大切な取り組みなので今後も継続してほしい。 ◎学校生活全般に対する満足度の高さは評価に値します。新しい学習指導要領の実施が本格的に始まり、指導方法についてさらなる工夫が求められていることと推察しますが、「総合的な探究の時間」等でのこれまでの取り組みの蓄積を活かし、生徒に多様な学びの機会が提供されることを期待いたします。					
学習指導	授業を通して学習意欲を喚起し、基礎学力を定着させる。	A	授業の進度についてはやや生徒にとって負担感はあるようだが、日常的に意欲的に取り組んでいる状況が見られており、生徒の学習意欲は高い。	A	A
	多様な選択科目を生徒自らの意思で選択し履修する。	A	選択科目の充実についてはアンケートの結果が良好であり、満足度は高いと思われる。	A	A
	生徒の向上心に応え、適切に学習活動を支援する。	A	生徒からの相談事への教員による対応の満足度が高く、全般的に支援に対しての評価は高いと考えられる。	A	A
	施設設備を整備し、有効で適切な利用を促進する。	A	充実した設備は旭丘高校の特色の一つであり、生徒たちからも好評である。	A	A
学校関係者評価委員からの意見 ◎貴校の充実した設備およびICTによる授業スタイル等、新たな手段を積極的に活用されて、生徒の皆さんが積極的に学ばれる姿勢と、教員の皆様のフォローアップを一層期待しております。 ◎1番目の項目は基礎学力を定着させることが目的であるのに、学習意欲の高さだけで評価するのは不十分ではないか。					

◎ 4番目の項目も好評か不評かではなく、利用を促進することが目的なので、利用率の向上など計数的な指標で判断すべきではないか。

◎ 「進路希望に応じて選べる科目が用意されている」「興味関心をひく選択科目が用意されている」は単位制において根幹に関わる部分であり、生徒の満足度の高さは評価に値すると考えます。

生活指導	自主自立の姿勢を育成する。	A	行事などの工夫の仕方などから生徒たちは自主的に考え、自立した行動を取ろうとしていることがうかがえる。教員の間でも指導ではなく、見守るという姿勢が多く見られる。	A	A
	健全な社会生活を送るために必要な基本的な生活習慣を身につける。	A	自主自立を意識しながらも常に見守りの体制を取りつつ助言や支援が行われていると考えられる。	A	A
	家庭との連携をはかり生活指導に臨む。	B	近年は一部連携の難しい家庭も見られるようになってきている。対応の仕方を工夫しなければならないケースが増えてきた。	A	A
	生徒会活動など特別活動への取り組みを支援し、社会性の育成の発揚を促す。	A	本校の生徒会活動は大変活発で、行事等の取り組みについての満足度は大変高い。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <p>◎近年さらに連携協働が難しい家庭の状況も見聞きする昨今ですが、丁寧な対応方法をぜひとも模索していただきたい。配布物等のインフォメーションが保護者の皆様に届くよう対応していただきたく思います。保護者メールについても、さらに有効活用できるよう希望します。</p> <p>◎自主自立の姿勢を育成するため、生徒を見守る意識を大切にしているのは、素晴らしい取り組みだと思います。</p> <p>◎家庭との連携のあり方については、大変気になるところです。コロナ禍の経験を踏まえ学校と家庭との繋がりが改めて重要になっているかと思っておりますので、連携の難しさ、課題について整理をしていただければと考えます。</p>					
進路指導	総合探究を通して、思考力・判断力を身に付け、進学先やその後の社会で活躍する力を育成する。	A	旭丘高校では探究的な取り組みに力を入れており、特に数理データサイエンス科の取り組みが多方面で高く評価された。長年の取り組みの成果であると自負している。	A	A
	ガイダンス機能を充実させ、的確な進路支援を行う。	A	アンケートでは支援や援助に対する評価が高く、ガイダンス機能が十分働いていると思われる。	A	A
	適切な進路情報の提供を通して、進路意識の喚起を目指す。	A	進路情報の提供は生徒だけでなく保護者からも好評であった。	A	A
	進路支援プログラムを充実させる。	A	土曜講習や長期休業講習の実施や講演会の開催など多くの取り組みが盛り込まれたプログラムが用意されている。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <p>◎総合探求の観点から「数理データサイエンス科の取り組み」への高い評価をはじめとして、「豊かな教養」に関心を向けられるような学びの選択をご教示いただきたく思います。</p> <p>◎関心が特に高い土曜講習、長期休業講習や講演会の開催などのプログラムによる進路支援を継続されることを希望します</p> <p>◎学校として長年に渡り探究的な取り組みに力を入れていたことは理解できる。しかし、まだ卒業生も出していない</p> <p>◎新設学科について、進路指導の分野で評価や成果を云々するのは違和感を感じます。</p> <p>◎「進路に係わる情報が十分に提供されている」について、保護者の数値が若干低くなっている点が気になります。「適切な進路情報」として生徒と保護者は何を求め、またどうすればそれが伝わるのか、整理していただければと思います。</p>					
健康安全指導	生徒一人ひとりに対する理解を深め、適切な対応を行う。	A	生徒理解に力を入れているが、生徒の多様化が進んできており、保健相談部の役割がより重視されるようになってきた。スクールカウンセラーの力を借りて相談業務も行っているが、対応はかなり厳しい状況が続いていた。	A	A
	心身の健康や安全に配慮した、バランスよい教育活動を行う。	A	コロナ禍で不自由な学校生活を強いられていたが、恵まれた施設設備を活用しながらバランスよく教育活動が行われていた。	A	A
	特別支援の体制を整備し、組織的に生徒の支援を行う。	B	近年の急激な生徒の多様化に対処するための体制整備には改善すべき点はまだ残されていると考えられ	A	B

			る。組織的な支援の必要性が高まっている。		
	いじめの未然防止に努める。	A	校内アンケートを活用して生徒からの聞き取りを重視している。小さなことでも担任からのサポートを行っている。	A	A
	いじめやいじめが疑われる場面で、適切に対応する。	A	今年度はいじめ対策委員会が発動し、組織的ないじめ対応ができた。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <p>◎特別支援の体制を整備するにあたり、生徒のあり方が多様化していることに対処しつつ、改善点を具体的に協議するよう期待します。</p> <p>◎コロナ禍により生じた心の悩みへのケアについて、また「いじめ防止基本方針」により対策を実行していただきたく思います。</p> <p>◎生徒の多様化が進み、生徒に対応する体制が厳しくなっている状況は理解できる。カウンセラーなどの外部の力も得ながら、早急に組織的な支援体制の構築に動き出すべきではないか。</p> <p>◎コロナ禍の影響に加え、特別支援も含めた生徒の多様化への対応が必要ななか、生徒理解には大変なこともありかと推察します。スクールカウンセラーをはじめ様々な専門家と先生方との連携の充実を期待します。</p>					
広報・連携等	保護者及び地域社会との連携に努める。	A	連合町内会との避難所運営の連携も2年目になり、まちづくりセンターとの連携も軌道に乗ってきた。PTAの活動は大変活発であり、学校との協力関係も良好である。	A	A
	学校説明会、中学校訪問はじめ広報活動・情報発信の充実を図る。	B	想定を超える来訪者を迎えて学校説明会を実施できたことは良かったが、中学校訪問はコロナ禍ということもあり実現できていないなど課題も見受けられる。	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <p>◎学校経営に関わり、PTA活動と地域社会との連携を深め、安全安心な学校生活を継続できる広報活動を希望します。</p> <p>◎中学校訪問については、今後とも多様な情報を伝えられることを期待します。</p> <p>◎中学校訪問が実現できなかったなどの課題に対し、どの様な方策で対応したのか記載してほしい。</p> <p>◎数理データサイエンス科の取り組みをより広く知っていただくためにも（とくに中学校に）、広報は一層重要なものと考えます。当校の独自性（独自の取り組み、強み）の明確化と情報発信の方法の工夫を期待します。</p>				
<p>旭丘高校として評価をうけての今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点別の評価を活用し、積極的に授業改善に向けて取り組む。従前の講義型授業だけでなく、対話的に学べるような形態の授業も取り入れ、最適な学びの形を目指す。 ・生徒個々が自ら学びの調整を行えるような教員による支援の体制を整える。 ・施設・設備の利用率はかなり高い状況であるが、どの程度の教育的効果が上がっているかの評価を行う。 ・生徒や保護者へ提供する進路などについての情報を見直しして、適切な形で伝えられるよう精査を行う。 ・多様化する生徒への対応について保健相談部を中心に必要に応じてケース会議等を行い対策を協議する。 ・令和5年度からのSSH校認定について今まで以上に周知を行うべく中学生や保護者に広報活動を行う。 					

<評価> A・・・よく達成されている B・・・ほぼ達成されているが改善も必要 C・・・不十分である